

■ 掲示板

■ 高エネルギー加速器研究機構次期機構長候補者の推薦依頼

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構では、2012年(平成24年)4月1日付で任期が始まる次期機構長の候補者について推薦を求めています。

本機構は、素粒子原子核研究所、物質構造科学研究所及び加速器研究施設と共通基盤研究施設とを擁し、国内外の研究者に開かれた大学共同利用機関法人であります。本機構における研究分野は、加速器を共通の研究手段として、高エネルギー物理学、原子核物理学、物質科学、生命科学、加速器工学など、多岐にわたっております。

機構長候補者は、①高度な先端性、国際性及び学際性を持つ高エネルギー加速器研究機構を、社会の理解と支持を得ながら、長期的なビジョンと強い学問的リーダーシップを発揮し発展させることができ、②中期目標・中期計画の策定及び推進に優れた手腕を有する者であることとしております。

なお、機構長の任期は3年です。再任された場合には、引き続き9年まで在任できることとなっております。また、国籍は問いません。

については、上記①及び②を踏まえて、適任者のご推薦をお願いいたします。

提出書類：

- (1) 機構長候補者推薦書
- (2) 候補者略歴
- (3) 主たる業績リスト
- (4) 推薦理由

※使用言語は、日本語または英語にてお願いいたします。(各様式については、担当までお問合せください。)

推薦期限：2011年(平成23年)7月8日(金) (必着)

推薦書提出先及び問合せ先：

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構

総務部総務課総務係

電話：029-864-5114 E-mail：shomu@mail.kek.jp

■ 東京大学物性研究所の教員公募

下記により准教授の公募をいたします。適任者の推薦、希望者の応募をお願いいたします。

1. 研究部門名及び公募人員数：軌道放射物性研究施設 准教授 1名
2. 研究内容：本学が第3世代放射光施設 SPring-8 (兵庫県佐用郡佐用町) に整備したビームライン BL07LSU にて軟 X 線領域 (250 eV-2 keV) の高輝度放射光を利用して物性研究を精力的に進めると共に、現有スタッフと協力して共同利用実験の支援を行い新しい研究分野を開拓することに意欲ある若手研究者を希望する。

3. 任期：満55歳に達する年度の初めに任期制に入り、任期は5年とし再任は1回を限度とする。なお、任期制の詳細については下記問い合わせ先までお尋ねください。

4. 公募締切：平成23年7月19日(火)必着

5. 就任時期：決定後なるべく早い時期を希望する。

6. 提出書類：

(イ) 推薦の場合：

- 推薦書 (健康に関する所見を含む)
- 履歴書 (略歴で可)
- 業績リスト (必ずタイプし、特に重要な論文に○印をつける)
- 主要論文の別刷 (5編以内、コピー可)
- 研究業績の概要 (2000字程度)
- 研究計画書 (2000字程度)

(ロ) 応募の場合

- 履歴書
- 業績リスト (必ずタイプし、特に重要な論文に○印をつける)
- 主要論文の別刷 (5編以内、コピー可)
- 研究業績の概要 (2000字程度)
- 研究計画書 (2000字程度)
- 所属長・指導教員等による応募者本人に関する意見書 (健康に関する所見を含み、作成者から書類提出先へ直送)

7. 書類提出先：

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

東京大学物性研究所総務係

電話 04-7136-3207 e-mail：issp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp

8. 本件に関する問合せ先：

東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設播磨分室 松田 巖

電話 0791(58)0802 内3619

e-mail：imatsuda@issp.u-tokyo.ac.jp

9. 注意事項：「軌道放射物性研究施設准教授応募書類在中」、又は「意見書在中」の旨を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

10. 選考方法：東京大学物性研究所教授会で審査決定いたします。ただし、適任者のない場合は、決定を保留いたします。

11. その他：お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込み下さい。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報に正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

■ 大阪府立大学「地域の大学からナノ科学・材料人材育成拠点」プログラム/テニュア・トラック教員 (第五期) 国際公募

1. 公募人員：特別講師 (テニュア・トラック講師) 2名
2. 研究担当：大阪府立大学 21世紀科学研究機構 ナノ科学・材料研究センター
3. 専門分野：ナノ科学、ナノ材料に関わる幅広い研究分野から最先端研究に関する応募を想定。実験研究、理論研究は不問。

4. 着任時期：2012年4月1日
5. 任期：5年（最終審査で適格と認められた場合は専任の准教授または教授へ昇任が可能）
6. 応募資格：2012年4月1日時点で、博士の学位を有し、大学における助教、博士研究員、あるいは同等職歴の経歴を3年以上有し、学位取得後10年以内の者。
7. 提出書類：
○履歴書○研究業績リスト○これまでの研究概要○今後の研究計画など。
○推薦書または意見書5通は推薦者から直送のこと。様式は不問ですが、すべて英語で作成のこと。
詳細は以下10. URLを参照。
8. 公募締切：2011年7月28日(木)
9. ①書類提出方法：WordまたはPDF形式で作成した応募資料を提出期限までに、本プログラムのホームページ <http://www.nanosq.21c.osakafu-u.ac.jp/> の電子応募欄より提出するとともに、資料原本を、「〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1番1号 公立大学法人 大阪府立大学 総務部人事課」宛に書留で郵送。
詳細は下記10のURLを参照のこと。
② 問合せ先：下記10. URLの公募問合せ欄
③ 事務連絡先：大阪府立大学 総務部人事課
e-mail : jinji2012@21c.osakafu-u.ac.jp
10. 本プログラムのURL：
<http://www.nanosq.21c.osakafu-u.ac.jp/>

■第13回（2011年度）サー・マーティン・ウッド賞 受賞候補者推薦要項

1. 趣旨：凝縮系科学に係わる若手研究者に対して研究のインセンティブ、モチベーションを与えます。

2. 対象分野：広い意味の凝縮系科学（例：凝縮系物理学、無機・有機固体化学、材料科学、表面・界面科学）
3. 候補者：日本における研究機関で、凝縮系科学における優れた業績をあげた40歳以下（2011年4月1日現在）の若手研究者。国籍は問わない。
4. 賞の内容：受賞は原則として毎年1件とし、受賞者には賞状、賞金50万円と英国のいくつかの大学への講演旅行の機会が与えられます。
5. 推薦依頼先：関係専門分野の有識者、関連諸学会
6. 推薦件数：各推薦者から一件とします。
7. 推薦方法：所定の推薦用紙に必要事項をご記入の上、下記事務局にお送り下さい。
自薦も受け付けております。自薦、他薦共に、候補者の業績内容を最も良く理解していると考えられ、当方より問い合わせ照会のできる2名の方（推薦者以外の方）の氏名、所属、肩書き、連絡先を記入して下さい。
8. 締切期日：2011年8月1日(月)必着
9. 選考：サー・マーティン・ウッド賞選考委員会にて審査、選考します。
10. 決定：2011年9月の予定です。
11. 賞の贈呈：2011年11月に英国大使館で行う予定です。
12. 推薦書提出先及び連絡先：
〒135-0047 東京都江東区富岡 2-11-6
オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社内
ミレニアム・サイエンス・フォーラム事務局
TEL : 03-5245-3871 FAX : 03-5245-4466
E-mail : msf@oxinst.com
<http://www.msforum.jp/>

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2011年 5/22-27	第8回新材料とデバイスに対する原子レベル・キャラクタリゼーションに関する国際会議 (ALC '11)	韓国・ソウル, Olympic Parktel	財団法人日本学術振興会マイクロビームアナリシス第141委員会 E-mail: alc11@jsps141.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp	23・4
5/24-27	第47回真空技術基礎講習会	大阪府立産業技術総合研究所	日本真空協会関西支部・財大阪府技術協会・日本真空工業会関西支部 E-mail: yamanaka@tri.pref.osaka.jp	24・2
7/10-13	第11回 SPring-8 夏の学校 —最先端の放射光科学を学ぶ—	SPring-8	財高輝度光科学研究センター, 財理化学研究所, 播磨研究所, 日本原子力研究開発機構, 量子ビーム応用研究部門, 兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所, 関西学院大学大学院理工学研究科, 東京大学放射光連携研究機構, 岡山大学大学院自然科学研究科 E-mail: 2011summerschool@spring8.or.jp	24・2
9/7-9	日本セラミックス協会秋季シンポジウム特定セッション 「新物質材料合成と構造評価設計技術」	北海道大学札幌キャンパス 高等教育推進機構	日本セラミックス協会 E-mail: ida.takashi@nitech.ac.jp	24・2
9/9-9/11	第14回 XAFS 討論会	岡崎コンファレンスセンター	岡崎コンファレンスセンター E-mail: yokoyama@ims.ac.jp	24・3
11/9-11	第52回高圧討論会	沖縄キリスト教学院	沖縄キリスト教学院 E-mail: nakama@sci.u-ryukyuu.ac.jp	24.3

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■第14回 XAFS 討論会

主 催：日本 XAFS 研究会
共 催：自然科学研究機構・分子科学研究所
協 賛：日本放射光学会，他
会 期：2011年9月9日(金)～11日(日)
会 場：岡崎コンファレンスセンター
〒444-0864 岡崎市明大寺町字伝馬 8-1
TEL 0564-55-7345

内 容：

X線吸収微細構造 (XAFS) 及び関連現象に関する理論、解析方法、実験技術、基礎及び応用研究

定 員：参加者約160名を予定

参加費：日本 XAFS 研究会会員：3000円 (年会費2000円を含む)
非会員：3000円
学生：1000円
賛助会員：無料

発表申込締切：平成23年7月10日

予稿原稿締切：平成23年7月29日

事前参加登録締切：平成23年8月30日

発表形式：口頭またはポスター

連絡先：

444-8585 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38番地
自然科学研究機構分子科学研究所
物質分子科学研究領域電子構造 横山利彦
TEL：0564-55-7345；FAX：0564-55-7337；
E-mail：yokoyama@ims.ac.jp

備 考：

詳細は <http://msmd.ims.ac.jp/XAFS14/XAFSall.html> を参照。

■第52回高圧討論会

主 催：日本高圧力学会

日 時：2011年11月9日(水)～11日(金)

会 場：沖縄キリスト教学院

交 通：

バス：那覇バスターミナルから40～60分。那覇バス97番線 (琉大線)。

他に、運行本数は少ないが33, 46番線の西原糸満線が利用可能。

タクシー：モノレール首里駅から、10～20分（約1,500円）。

自動車：駐車できるスペースに限りがあるが利用可能

講演募集分野：高圧力の科学と技術に関する次の分野

- (1)高圧装置・技術 (2)固体物性 (3)固体反応 (4)流体物性
(5)流体反応 (6)地球科学 (7)生物関連 (8)衝撃圧縮 (9)その他
(ただし(4)(5)(7)には溶液, 界面, および食品を含む)

発表形式：口頭発表, ポスター発表

特別企画：特別講演およびシンポジウムは現在企画中です。

参加登録予約締切：

10月4日(火) 締切後は当日申込にてご参加ください。

参加費：本会, 共催・協賛学協会会員 (4,000円)

非会員 (6,000円)

本会, 共催・協賛学協会学生会員 (2,000円)

非会員学生 (3,000円)

(当日申込の場合は各1,000円増しになります。)

懇親会：11月10日(木)夕刻

要旨集：5,000円

振込先：

郵便振替 (01080-7-48066 日本高圧力学会)

銀行振込 (みずほ銀行 出町支店 普通預金口座 1409296

日本高圧力学会)

申込先：

〒565-0817 吹田市長野西11-31-302

株式会社ポラリス・セクレタリーズ・オフィス内

第52回高圧討論会事務局

Tel : 070-5658-9834 (多田)/070-5658-7626 (笹部)

Fax : 020-4622-1920

E-mail : highpressure@officepolaris.co.jp

実行委員会事務局：

〒903-0213 沖縄県西原町千原1

琉球大学 理学部 物質地球科学科

仲間隆男 (実行委員長)

Tel : 098-895-8514

E-mail : nakama@sci.u-ryukyu.ac.jp

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 足立 伸一

渉外幹事 水木純一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr243

Password : uAnb5gR2

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、水木 (mizuki.junichiro@jaea.go.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、足立 (shinichi.adachi@kek.jp) までお願いします。